



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



疏水百選「香川用水」水土里の路ウォーキング（観音寺市・井関池）

目 次

1. 第 35 回全国土地改良大会（沖縄大会）2～3
2. 農地・水保全管理対策中国四国シンポジウム in かがわ 20124
3. 平成 24 年度香川県農地利用集積推進対策会開催5
4. 総合的な環境配慮技術講習会開催5
5. 土地改良区だより さぬき市野間池土地改良区6
6. 疏水百選「香川用水」水土里の路ウォーキング開催7
7. 香川県土地改良OB会開催／会と催し8

みどり 豊かな 守禮の邦 美らさん 真心 おーきな和
 水土里

第 35 回 全国土地改良大会 (沖 縄 大 会)



去る 11 月 21 日、沖縄県那覇市の奥武山総合運動場武道館アリーナ棟において、第 35 回全国土地改良大会が開催された。この大会は、食料の安定供給の確保、多面的機能の発揮、農業の持続的な発展並びに農村の振興などの実現のため、農業・農村の重要性に加え、これを支える農業農村整備事業の役割を広く国民にアピールするために開催されており、今年も、本土復帰 40 年の沖縄県で「水土里豊かな守禮の邦美らさん真心 おーきな和」をテーマに開催され、全国各地から土地改良関係者約 2,500 名が参加した。

大会式典では、開催県である水土里ネットおきなわの古謝景春会長が開会の挨拶後、全国水土里ネットの野中広務会長から主催者として挨拶があり、仲井眞弘多沖縄県知事からは歓迎の挨拶が述べられた。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰 6 名、農林水産省農村振興局長表彰 16 名、全国土地改良事業団体連合会長表彰 46 名が表彰された。

本県からは、農林水産省農村振興局長表彰に香南町土地改良区理事長の泉川静雄氏、全国土地改良事業団体連合会長表彰に豊稔池土地改良区理事長の村上明秋氏がそれぞれ受賞の荣誉に浴された。



農林水産省農村振興局長表彰
 香南町土地改良区
 理事長 泉川 静雄



全国土地改良事業団体連合会長表彰
 豊稔池土地改良区
 理事長 村上 明秋

基調講演では、林田直樹農村振興局次長から新たな土地改良長期計画の概要と 7 つの政策目標と今後の展開方向についての説明があった。

また、大会宣言が沖縄県農業青年クラブ連絡協議会の仲宗根正人さんと新崎 薫さんから、本土復帰 40 年



沖縄県農業青年クラブ連絡協議会
仲宗根正人さん・新崎 薫さん



基調講演をする林田農林水産省農村振興局次長

を迎えた沖縄の地から高らかに宣言された。

22 日、23 日の両日は、大会参加者ら約 900 人が 5 コースに分かれて沖縄県の土地改良事業を視察した。

大会宣言

ここ沖縄県は、我が国の西南端に位置し、東西 1,000km、南北 400km の広大な海域を有しており、世界でも屈指の透明度を誇る海と亜熱帯の貴重な動植物を有する、自然豊かな地域です。

また、琉球王国の時代から広く海外と交流を重ねており、「万国津梁」の言葉のごとく、南海の勝地として大いに栄えたところであります

今年、沖縄が本土復帰後 40 年に当たる年であり、国をはじめ、全国の水土里ネット関係者の皆様に、これまでのご支援の成果を見ていただける、絶好の機会でもあります。

本土復帰に至るまでの土地改良事業は、殆ど手つかずの状態、農業は、沖縄特有の気象、地形、土壌のため、幾度となく干ばつによる甚大な被害に苦しめられてきました。

このため、我々水土里ネット関係者は、全国の皆様の支援も受けながら、我が国初の本格的な地下ダムの整備等による水源の確保や、返還された米軍用地を農地へ再生する整備等に、精力的に取り組んできました。

現在では、農業生産基盤整備が、沖縄の農業振興の大きな下支えとなっております。

しかしながら、沖縄の農業と農村は、現在、過疎化、高齢化、担い手不足等の大きな課題に直面しております。このことは、沖縄だけでなく、全国の農業と農村が直面している共通の課題でもあります。

また、先人達の努力の結晶を一瞬のうちに破壊し、大きな傷跡を残した東日本大震災からの復旧・復興も道半ばです。

このような中、土地改良に関わる全国の方々が、ここ沖縄に集うということは、かつて経験したことがない困難に打ち勝ち、地方の再生に農業農村の活力が必要であるという認識を改めて心に刻む意味においても、大変意義深いものと思えます。

国においては、「人・農地プラン」の作成を通じた地域農業の再生へと、大きく舵をきりました。

また、「食を支える水と土の再生・創造」を基本理念とする新たな土地改良長期計画を閣議決定しております。

これらの実現のためには、農業の体質強化を図るとともに、小水力や太陽光等といった再生可能エネルギーの有効利用や災害に強い国土づくり等を進める必要があります。更には、農村地域の持つ魅力や食文化の大切さを、国民に訴えることも必要と言えます。

本日、ここに集う私たちは、地域農業の再生に向けて、農村の「水(みず)」「土(つち)」「里(さと)」を守り、引き継いで行くことを、本土復帰 40 年を迎えた、ここ沖縄から、高らかに宣言します。

平成24年11月21日

第35回全国土地改良大会(沖縄大会)

農地・水保全管理対策中国四国シンポジウム in かがわ 2012 ～みんなの力でうまげな農村・健康者会をめざして～

農村地域における農地・農業用施設の保全管理や農村環境の保全を強化するため、非農家を含めた地域共同による活動の推進を目的に、優良活動組織の事例紹介や基調講演、意見交換会等を行います。



- 日 時** 平成 25 年 2 月 13 日 (水) 13:00～16:50
(12:00 から受付開始)
- 場 所** 高松市玉藻町 9-10
アルファあなぶきホール (香川県民ホール) 小ホール
- 内 容**
- ①基調講演
『農業とともに はぐくむ地域健康社会』
香川大学農学部長 早川 茂
 - ②事例発表
中国四国農政局長最優秀賞受賞地区 (予定)
 - ③意見交換会
コーディネーター：中国四国農政局長 國弘 実
パネリスト：西讃地域協議会長 村上 明秋
香川大学農学部准教授 亀山 宏
高松市「人・農地プラン」検討委員会委員 佃 俊子
事例発表者(局長受賞者)予定 3名
- 主 催** 香川県農地・水・環境保全向上対策
東讃地域協議会・中讃地域協議会・西讃地域協議会
- 共 催** 農林水産省中国四国農政局、香川県

平成 24 年度香川県農地利用集積推進対策会開催

去る 11 月 14 日、香川用水記念会館 5 階演習室において、平成 24 年度香川県農地利用集積推進対策会を開催した。

この対策会は、ほ場整備等の基盤整備事業が完了した地区において、農地の利用集積を推進するため、土地改良区等が行う農地の利用集積活動に係る課題の解決策の検討を行い、その指導方針の策定を目的とする。

開会にあたり、本会湊参事より香川県における農地利用集積の推進における現状報告及び出席者に対するお礼の挨拶があった。

続いて、香川県農政水産部土地改良課の登倉耕太郎課長補佐を議長として議事に入った。まず、空席だった副委員長に東かがわ市事業部経済課坂下恵課長が選任された。次に報告事項として、三豊市の麻地区外 2 地区の平成 23 年度集積実績及び課題について、東かがわ市の相生地区馬宿団地外 1 地区の平成 24 年度推進計画についての報告があった。更に平成 25 年度推進予定地区である観音寺市の四方堂地区大平木工区の概要説明があり、いずれも原案どおり承認された。

最後に『「人・農地プラン」における水土里情報システムの活用について』と題して、農地利用集積における「水土里情報」の活用事例を紹介し、農地の利用集積推進地区における種々の情報を「水土里情報」に一元管理することによって、より一層の集積及び手続きの簡素化が図られることを確認するとともに、今後、このシステムが積極的に利用されることを期待して閉会した。



総合的な環境配慮技術講習会開催

11 月 27 日、平成 24 年度官民連携新技術研究開発事業「総合的な環境配慮技術講習会」が香川用水記念会館 5 階研修室において、国の職員をはじめ、県や市町、中国四国農政局管内の各県水土里ネット、県内水土里ネットなど、112 名の参加のもと、盛大に開催された。

この講習会は、生態系や景観配慮技術を統合し、農業農村整備における環境配慮対策や地域における環境保全活動の質を高め、地域の主体性を醸成するための技術を解説及び普及するため、本県をはじめ、熊本県や青森県など 5 都県で開催される最初の講習会として開催された。

講習会では、(社)地域環境資源センター 松岡直之農村環境部長から、本講習会の目的をはじめ、これまでの環境配慮対策の課題や計画・技術的な問題と対応策など「農村における環境配慮の課題と対策」についての説明後、各講師から「総合的な環境配慮の流れ」や「環境情報の管理と活用」などについて、具体的な事例を紹介しながら地域資源の管理や整備手法等の説明があった。なお、本県からは、「地域における環境配慮対策・環境保全活動ー香川県善通寺市木徳町宮池における実証調査ー」と題して、本会仲多度支所西川隆晴支所次長が宮池におけるオニバスの復活に向けた環境保全活動について発表した。

また、講師全員の参加のもと、本講習会の参加者から具体的な課題の解決に向けた取組方法などの質問に対して講師が直接助言を行う座談会を開催し、盛会裏に講習会を終えた。



～土地改良区だより～

さぬき市野間池土地改良区(さぬき市)

さぬき市野間池土地改良区は、昭和 24 年 6 月の土地改良法の制定を受け、昭和 25 年 9 月 30 日に前身の耕地整理組合を組織変更し、大川郡野間池土地改良区が設立された。その後、平成 20 年に大川郡西部 5 町の合併によって「さぬき市」が誕生したことに伴い、当土地改良区についても、同年、さぬき市野間池土地改良区に名称変更し現在に至っている。

当土地改良区の所管区域は、さぬき市の西部を縦断して瀬戸内海に注ぐ二級河川「鴨部川」の両岸に拓けた水田地帯に位置し、東西約 3 km、南北約 4 km の帯状の地域 124ha である。地域の農産物は、水稲をはじめ、麦、温暖な気候を活かした青ねぎ、キャベツ、ミニトマトなどの多種の野菜が栽培され、近年、青ねぎの栽培面積の増加が顕著となっている。

また、管内のうち、鴨部地区や乙井地区などにおいては、農業生産の基礎である農地が県営ほ場整備事業や基盤整備促進事業等で整備され、用水路は概ねパイプライン化されており、農業用水の円滑な配水を目指し、適切な維持管理はもとより、パイプライン化のメリットを生かした効率的な配水管理が行われている。なお、厳しい農業情勢ではあるが、池田理事長をはじめ、土地改良区役職員が一丸となり、地域農業の振興のため、配水管理や維持管理などに積極的に取り組んでいる。

【野間池】

野間池は、別名日内山池ひうちざんいけと言われ、旧長尾町と寒川町、志度町の町境に位置する。受益地域は、旧志度町鴨部地区と寒川町神前地区が大部分を占め、長尾町乙井地区の受益面積は約 3ha と少ない。

築造の歴史は定かではないが、「翁姫夜話おうひめやわ」の寒川郡編に、王田渡池や中王田池とともに野間池と記され、貞享 3 年(1686)当時、既に野間池が存在していたことは間違いないところである。

また、野間池は、従来から集水域である山が浅く、貯水効率が悪いいため、鴨部川から導水しており、当初は現在の乙井橋の堰から取水していたが、現在は少し上流の古川堰から導水している。その他、「分量石」など、さまざまな慣行や水論が多いため池でもある。



池田一三理事長（中央）と事務局

土地改良区の概要

所在地	さぬき市鴨部 2496 番地
設立年月日等	昭和 25 年 9 月 30 日 香川県第 5 号
関係市町	さぬき市
管内農地面積	124 ha
組合員数	267 人（総代 40 人）
役員数	理事 13 人、監事 4 人



水土里ネット香川用水では、「疏水百選」（平成 18 年）に選ばれたのを機に、疏水百選「香川用水」水土里の路ウォーキングを実施している。7 回目となる今年は、観音寺市大野原町の萩原寺から香川用水西部幹線水路の末端である姥ヶ懐池までの往復約 8 km を歩くコースに約 200 名が参加した。

11 月 18 日、心配された天気も絶好のウォーキング日和となり、集まった参加者は開会式の後、香川県ウォーキング協会の歩き方や準備運動の指導を受け萩原寺を出発。

最初のチェックポイントの井関池では、池の管理者である豊稔池土地改良区の村上理事長より池の概要が説明された。この地域は豊稔池や井関池をはじめとする数多くのため池の恩恵を受け、米、野菜の他に苺やトマトなどのハウス園芸や果樹を組み合わせた複合農業経営を中心とした生産性の高い集約型農業地域で、特にブランド名「らりるれレタス」で有名なレタスは全国の市場に出荷している。



出発前に全員で準備体操



村上理事長による井関池の説明



姥ヶ懐池を見学する参加者

燧灘に浮かぶ伊吹島を眺めながら歩き、第 2 チェックポイントの姥ヶ懐池では全員で記念撮影。参加者は秋の深まった農村風景を愉しみながら思い思いのペースで歩き、ゴール地点ではお土産に「らりるれレタス」が手渡された。



第 3 チェックポイントの板橋池分水工



班ごとに記念撮影

香川県土地改良OB会開催

去る 12 月 1 日、本県の土地改良事業に携わり退職した者で組織する「香川県土地改良OB会」が、高松市中野町のルポール讃岐で開催され、県内外から 28 名が集った。

最初に世話人を代表して（元）香川県農林部次長長町博様から開催の挨拶と参加に対するお礼があり、続いて出席された現役職員を代表して、香川県農政水産部土地改良課飯間勝課長から本県における平



ルポール讃岐にて

成 24 年度の農業農村整備事業の現状と取組みなどが報告された。

その後、愛知県在住の三井司様による乾杯の発声で懇親会が開宴し、出席者は開口一番、「お元気でなによりです」とお互いの健康を気遣いながら、久しぶりの同僚との再会に目を輝かせ、近況報告や趣味のこと、また、現役当時の懐かしい思い出話に花を咲かせ、来年の再開を約束し盛会裏に終了した。



会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催月日	会 の 名 称
11 月 12 日 ～16 日	平成 24 年度実践技術研修 (岡山市)	27 日	総合的な環境配慮技術講習会 (高松市)
14 日	平成 24 年度香川県農地利用集積推進対策会議 (高松市)	28 日	平成 24 年度第 2 回土地改良施設管理円滑化事業推進委員会管理専門指導員会 (高松市)
15 日	平成 24 年度第 1 回香川県農業農村整備事業環境情報協議会 (高松市)	29 日 ～30 日	平成 24 年度換地計画実務研修会 (綾川町)
18 日	第 7 回疏水百選「香川用水」水土里の路ウォーキング (観音寺市)	30 日	高松市西植田土地改良区事務所新築落成記念式典 (高松市)
19 日 ～20 日	平成 24 年度農業集落排水計画設計士技術講習会 (東京都)	12 月 1 日	香川県土地改良OB会 (高松市)
20 日 ～22 日	第 35 回全国土地改良大会(沖縄大会) (沖縄県)	6 日	平成 24 年度中国四国土地改良事業団体連合会技術部会 (広島県)
25 日	三木町東部環境整備団体秋期感謝祭 (三木町)	6 日 ～7 日	平成 24 年度換地計画実務研修会 (さぬき市)
26 日	高松市管内土地改良区統合整備に関する意見交換会 (高松市)	7 日	第 68 回新川沿岸土地改良区連合理事会 (三木町)

